

精神障害のある人が住み慣れた地域で暮らしやすい病院を認定します
～精神障害者地域移行・地域定着協力病院の認定について～

平成 28 年 10 月 28 日
千葉県健康福祉部障害福祉課
電 話 043-223-2680

千葉県内の精神科病院の長期在院者（1年以上在院者）は年々減少しているものの、約 7 千人おり、依然として高い水準であり、精神障害者の地域生活への移行が進んでいません。

そこで、長期入院している精神障害者の地域生活への移行や地域生活を継続するための支援を積極的に取り組んでおり、申請のあった 11 か所の精神科病院を、「千葉県精神障害者地域移行・地域定着協力病院」として、11 月 1 日付けで、初めて認定することとしました。

1 認定式

- (1) 日時 平成 28 年 11 月 1 日（火）11 時 30 分から
(2) 場所 本庁舎 11 階 健康福祉部会議室

2 認定病院（11 病院） 50 音順

秋元病院	（鎌ヶ谷市）	京友会病院	（旭市）
旭中央病院	（旭市）	聖マリア記念病院	（成田市）
磯ヶ谷病院	（市原市）	千葉病院	（船橋市）
市原鶴岡病院	（市原市）	初石病院	（柏市）
大多喜病院	（夷隅郡大多喜町）	藤田病院	（匝瑳市）
木村病院	（千葉市）		

※県内の精神科病院数は 52 病院

3 認定要件

- 病院内に入院患者の地域移行を推進するための会議を設置していること
- 障害保健福祉圏域毎に県が実施している、圏域内の病院、障害福祉サービス事業所、行政などの関係者で構成する地域移行支援協議会等への参加をしていること
- 障害者総合支援法に基づく地域移行・地域定着サービスなどが必要な者に対して、障害福祉サービス事業者等と連携した支援を行う体制があること
- 病院の所在する圏域外に退院を希望する患者の退院支援について協力する予定があること

4 制度の効果

- (1) 退院時の支援体制を条件としていることから、入院されている患者さんやご家族が病院を選択する際の目安になる。
- (2) 医師をはじめとする病院職員に地域移行を意識した支援について考えるきっかけになる。